

スギ特定苗の普及促進に向けた生産協定について（結果の公表）

このことについて、以下のとおり協定を締結したので公表します。

1. 協定締結日

令和5年11月27日

2. 協定者住所氏名

静岡県富士市横割5丁目13番地11号

日本製紙木材株式会社

富士営業所 所長 成瀬 秀樹

3. 協定内容

(1) 協定物件及び使用時期、数量等

① 物件番号1（栃木ブロック）

署等名	植栽時期	予定本数
日光森林管理署	R6 春	6,300
塩那森林管理署		10,000
計		16,300
日光森林管理署	R7 春	5,000
塩那森林管理署		10,000
計		15,000

② 物件番号2（群馬ブロック）

署等名	植栽時期	予定本数
群馬森林管理署	R6 春	10,000
利根沼田森林管理署		5,000
吾妻森林管理署		8,500
計		23,500
群馬森林管理署	R7 春	10,000
利根沼田森林管理署		10,000
吾妻森林管理署		5,200
計		25,200

③ 物件番号3（千葉、神奈川ブロック）

署等名	植栽時期	予定本数
千葉森林管理事務所	R6 春	-

東京神奈川森林管理署		2,200
計		2,200
千葉森林管理事務所	R7 春	7,200
東京神奈川森林管理署		3,500
計		10,700

(2) 協定期間

令和5年11月27日から令和8年3月31日まで

(3) 苗木の規格

スギ特定苗（コンテナ苗）

苗長：35 cm上 根元径：3.5 mm上 根鉢の容量：150 cc上

4. 企画提案の内容

項目	取組内容
①苗木の生産にかかるコストの縮減を図るもの	1年生実生苗：独自の独立型コンテナ・専用培土の開発により、播種後1年以内で出荷規格を満たす苗木生産方法を確立した。生産期間の短縮により労力の低減、苗畑面積の縮小が図れる。
②苗木の出荷方法の効率化を図るもの	専用の苗抜き機：開発した独自の独立型コンテナに適合する苗抜き機を作成し、出荷作業を効率化する。
③新たな技術の開発や販路拡大を図るもの	①閉鎖型採種園由来の種子利用：外来花粉を防除し、特定母樹同士の確実な交配により、特定母樹の特徴が十分に引き継がれた閉鎖型採種園由来の種子を利用する。 ②苗畑モニタリングシステムの導入：モニタリングシステムとして「みどりクラウド」を苗畑に導入し、育苗環境（温度、水分量、日射量）を数値化し、管理を行う。
④地域の林業等への貢献を図るもの	地元生産者との協業：地元生産者へ苗木の生産委託方式を取ることで、地場の雇用創出・産業活性化に貢献出来る。また、県苗組との技術交流なども進め、生産者全体の技術力の底上げを図っている。
⑤上記以外に独自で行っている取組等	①今回の生産協定により植栽された特定苗木については、3年後に一部で成長量調査を計画しており、取得したデータは広く公開することで特定苗木の各地での有効性を検証出来る。

	②社有林の特定苗木化：社有林（9万 ha）の再造林では特定苗木をいち早く積極的に植栽している。これにより、CO2 吸収源拡大や花粉症対策に加え、再造林費用の低減による林業再生にも貢献出来る。
--	---

5. 苗木の販売価格

214 円/本

注1 消費税抜き価格

2 送料を除いた梱包等の出荷に要する費用を含む庭先渡し価格

(担当：森林整備課)